



ぐるっとマップ

No.285 小谷・白馬の棚田

保存版

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

傾斜地に階段状に作られた田んぼのことを棚田といいます。規模拡大や作業の効率化が難しく、収量の割に手間がかりすぎることから、維持が難しくなっています。一方で棚田には、農地としての役割のほかに、傾斜地の地滑り等を防ぎ、水資源の流量を調節し、自然環境を保全し美しい景観をつくる等、さまざまな機能があります。



そこで、生産者の皆さんの棚田の保全活動を国や地方公共団体がサポートし、一緒になって棚田を核とした地域振興を進めることを目的に、2019年6月、「棚田地域振興法」が制定されました。これを受けて小谷村・白馬村では活動の主体となる協議会が組織され、取り組みが始まっています。今回のマップでは、小谷・白馬の棚田を紹介します。

小谷村:小谷村棚田地域振興協議会

お問合せ:小谷村観光地域振興課農林係 0261-82-2588

山間地域である小谷村は、ほとんどの水田が棚田で、寒暖差のある気候が米作りに適しています。既に実施している棚田オーナー制度のほか、ホタル等の観察イベントや地域収穫祭等の開催を通して、棚田の保全と地域振興を進めています。

棚田オーナー制度

実施地区:②中谷、⑧池原、⑪平間、⑭川内
募集期間:2月上旬～5月上旬まで(オーナー期間1年間)
募集区画:10～50組 希望により1,000㎡まで貸し付け可能
作業内容:田植え、稲刈り
標準料金:100㎡あたり25,000円



26

白馬村:白馬村棚田地域振興協議会

お問合せ:白馬村農政課 0261-85-0766

26.立の間 明治時代に村民総出で、浅間山を取り巻く堰を掘り、今の棚田ができました。



27

27.青鬼(日本の棚田100選)

集落は2000年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定。毎年ボランティアの参加のもと、堰さらいが行われています。青鬼の棚田で育てられた紫米と加工品は、道の駅等で購入することができます。

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局:TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557



11



13



21

多くの棚田でこれから田植えが始まります。できる範囲で、棚田での活動を応援してみませんか。



- ☺ 棚田に関心を持つ
- ☺ 棚田について話題にする
- ☺ 棚田の農産物等を購入する
- ☺ 棚田の作業イベントに参加する
- ☺ 棚田のオーナーになる

詳しくはそれぞれの村の協議会へお問合せください。

28.野平 区画改良が進んだ棚田から望む北アルプスのパノラマは絶景です。春の一本桜が咲く頃もおすすめ! 2017年より日本酒造りプロジェクトとして酒米も栽培されています。

29.堀之内・飯田 広大な神祕園場の端に位置し、住民と農業法人が協力して営農しています。

30.内山 棚田に水を引く水路ではホタルの保全活動が行われ、季節になるとホタルの乱舞が見られます。



30

※このマップは、2021年5月14日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意下さい。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。